

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月13日

計画の名称	地域の災害リスクを低減させる道づくり（市町村）（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和05年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	都城市, 小林市, 三股町, 綾町												
計画の目標	国土強靱化地域計画に基づき、地域の交通・輸送を支え、災害時でも機能する道路ネットワークを構築する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	647	A	647	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和3年度	中間目標値	最終目標値 令和5年度
1	道路整備等により、安全かつ円滑に通行できる区間の改良率を向上させる。 道路改良率 (計画期間内における道路改良率を算出) = (改良済みの道路延長) / (未整備延長) × 100%	0%	%	70%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靱化地域計画A1.A2.A3.A4にしもる定住自立圏共生ビジョンA2												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	都城市	直接	都城市	市町村道	改築	(他)丸岡440号線・1工区	現道拡幅 L=0.30km	都城市						140	-	
	A01-002	道路	一般	小林市	直接	小林市	市町村道	改築	(1)東麓石瀬戸線・3工区	現道拡幅 L=0.64km	小林市						260	-	
	A01-003	道路	一般	三股町	直接	三股町	市町村道	改築	(2)島津紅茶園切寄線・1工区	現道拡幅 L=0.63km	三股町						121	-	
	A01-004	道路	一般	綾町	直接	綾町	市町村道	改築	(1)八日町・尾原線・八日町工区	現道拡幅 L=0.80km	綾町						126	-	
												小計						647	
												合計						647	

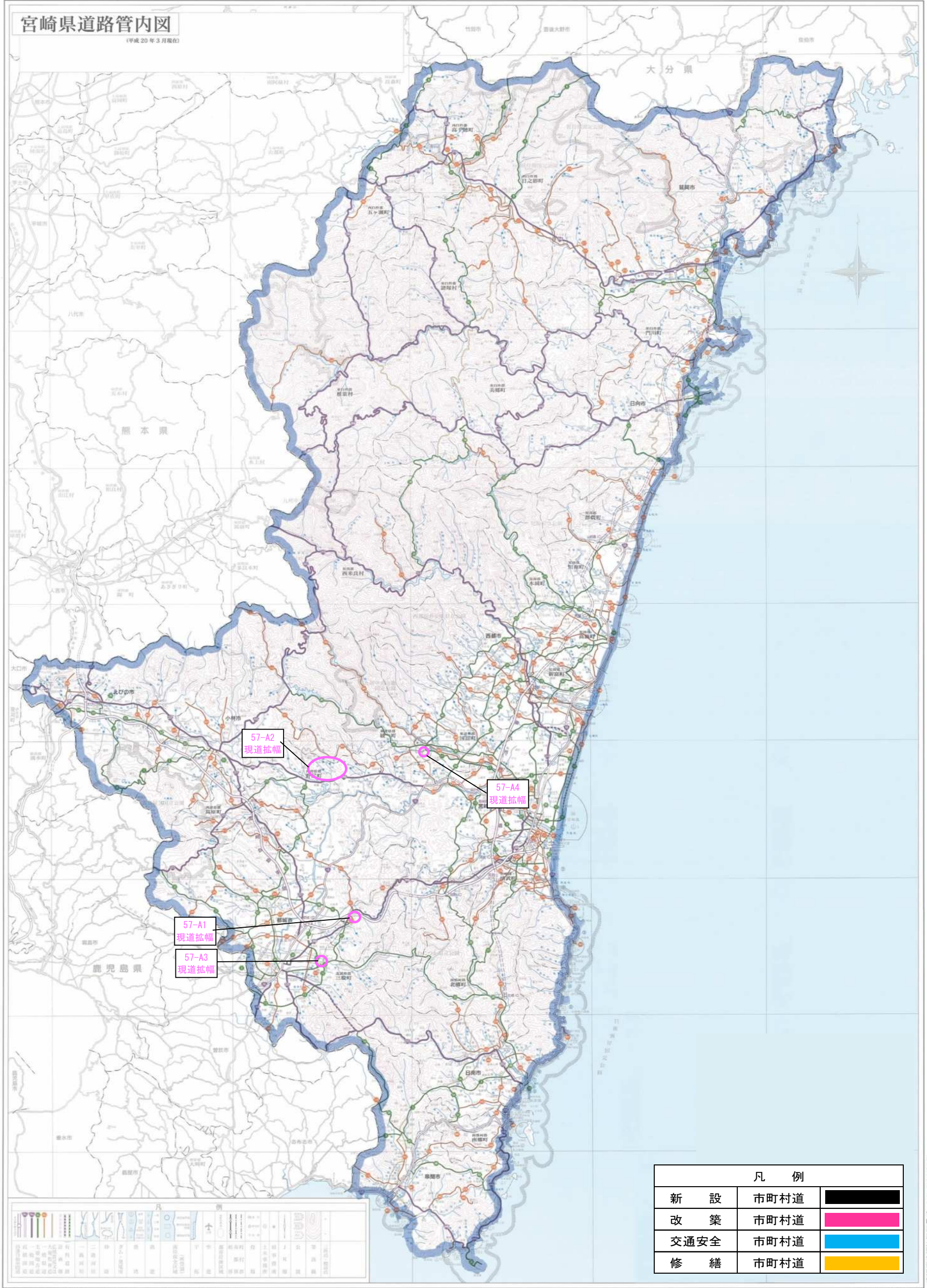
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画の名称	地域の災害リスクを低減させる道づくり (市町村) (防災・安全)	交付団体	都城市・小林市・三股町・綾町
計画の期間	令和3年度～令和5年度 (3年間)		



凡 例		
新 設	市町村道	黒色
改 築	市町村道	ピンク色
交通安全	市町村道	青色
修 繕	市町村道	黄色

平成二十年三月 宮崎県国土整備部監製

事前評価チェックシート

計画の名称： 地域の災害リスクを低減させる道づくり（市町村）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた計画の目標が設定されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 定量的指標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 定量的指標が分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 基幹事業と関連事業・効果促進事業の一体性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 事業実施により、十分な事業効果が発揮される。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 事業費・事業内容が適切に設定されている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 実施工程に則して実施期間が設定されている。	<input type="radio"/>